
架空兵器特集

一条機龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

架空兵器特集

【Zコード】

Z1529BA

【作者名】

一条機龍

【あらすじ】

自分の考えた架空兵器を紹介する架空兵器特集。ある意味特異な架空兵器が登場します。

作者と自分の投稿している小説のキャラが紹介していきます。

第一話 鏡城型戦艦（前書き）

自分の考えた架空兵器を紹介する架空兵器特集。矛盾している点
がありましたら教えて下さい。

第一話 磐城型戦艦

雛風

「これはどういう事だ作者?」

作者

「まあまあ。こんな架空兵器があつたらいいなと思う作者の独断で始めました」

芹沢

「それはともかく何故私達が?」

作者

「それは作者一人ではつまらないので」

白石

「そんな理由ですか?」

作者

「と、とにかく早速始めます」

磐城型戦艦

いわき

全長 365メートル

全幅 45メートル

基準排水量 7万7500トン

常備排水量 9万2300トン

満載排水量 10万8300トン

最大速度 33ノット

航続距離 18ノットで2万海里

乗員 2200名

武装 50口径50・8cm3連装主砲4基12門

65口径25・4cm3連装副砲2基6門

70口径12・7cm連装高角砲16基32門

40mm4連装機関砲32基128門

30mm3連装機関砲40基120門

12・7cm36連装噴進砲12基

航空機 12機

カタパルト 2基

姉妹艦 一番艦『岩代』^{いわじろ}、二番艦『陸前』^{りくぜん}、四番艦『陸中』^{りくちゅう}

説明

旧日本海軍の改大和型戦艦と米海軍のアイオワ型戦艦を元に開発された最新鋭戦艦であり、旗艦設備や通信性能は現代の護衛艦に匹敵する性能を有する。

12・7cm36連装噴進砲は同口径の28連装噴進砲を改良したのを搭載しており、煙突脇に6基ずつ配備されている。

作者

「…どうだ？」

薙風

「いいんじゃないのか？」

芹沢

「これはこれでバランスがいいです」

白石

「わ、私も反対意見はありません」

作者

「では次回は航空機を紹介します」

第一話 鏡城型戦艦（後書き）

「意見・感想をよろしくお願ひします。」

第一話 72式艦上戦闘機『旋風』 実龍型航空母艦

作者
「さてドンドン行きます」

雑風

「おー！」

芹沢

「ではどうぞ」

72式艦上戦闘機『旋風』せんぱう

全長 10.5メートル

全幅 11.8メートル

全高 3.4メートル

発動機 液冷式V型16気筒発動機『アツタ五一甲型』

最大速度 650km/h

航続距離 1800km (増槽無し)
3200km (増槽あり)

上昇高度 1万2000メートル

乗員 1名

武装 機首13.2mm機関銃2門 (装填数500発)
翼内25mm機関砲4門 (装填数500発)

爆装 500キロ爆弾1発

50キロ爆弾2発

説明

見た目は旧日本軍の三式戦闘機飛燕を元に米軍のムスタングを混ぜた感じで、速射性に優れる13.2mm機関銃に必殺の25mm

機関砲の組み合わせはテストで優れた戦績を残したほど優秀である。ちなみに72式とは皇紀で2012年は2672年だから下一桁

を取つて72式となつた。

加えて発動機の甲型は航空機用、乙型は車輌用となつている。

作者

「どうだ」

白石

「航空参謀である私からすれば旋風は優秀その物です」

作者

「今日はこれだけでは無いぞ」

薙風

「まだあるのか?」

作者

「もちのろん」

芹沢

「古いです作者」

作者

「それだけは……ガクツ」

白石

「わわわ! 作者殿が! ?」

雑風

「しようがないな。では次どうぞ」

冥龍型航空母艦

めいりゅう

全長 385メートル

全幅 47メートル

基準排水量 4万7200トン

常備排水量 5万7200トン

満載排水量 7万5400トン

最大速度 33ノット

航続距離 18ノットで2万海里

乗員 2400名（航空要員500名）

武装 70口径12.7cm連装高角砲12基24門

40mm4連装機関砲24基96門

30mm3連装機関砲36基108門

12.7cm36連装噴進砲6基

航空機 最大120機

姉妹艦 一番艦『嵐龍』、二番艦『巡龍』、三番艦『地龍』

説明

旧日本海軍の大鳳型装甲空母とアメリカ海軍のミッドウェイ型空母を元に開発した最新鋭空母であり、最新のレーダー、ソナーを備え、機動艦隊旗艦として建造されたためICICと艦橋も大型である。

装甲は飛行甲板は最大で110mm、エレベーター部は95mmと重装甲でありながら、重心は極めて安定している。

作者

「復活！そしてどうだ！」

雑風

「復活早いな～。で、いろいろな意味でこの空母凄いぞ」

芹沢

「確かにそうですね」

白石

「では、そういう時間なので次回予告をビックリ」

作者

「次回は巡洋艦と駆逐艦をする予定」

雑風

「次回もよろしく」

第一話 72式艦上戦闘機『旋風』 実龍型航空母艦（後編）

「意見・感想をよろしくお願ひします。」

第二話 大淀型電子輕巡洋艦 突風型駆逐艦

作者
「さてさて今回も行きますよ」

三沢

「はわわ、作者殿」

桜城

「一ついでですか?」

作者

「どうした?」

三沢

「なぜ私達だけですか?」

作者

「作者の都合上、交代制にしましたので」

桜城

「そういう事ですか?」

作者

「とにかく始めよう」

大淀型電子輕巡洋艦

全長 205メートル

おおたかひら

全幅 22メートル
基準排水量 7500トン
常備排水量 8900トン
満載排水量 1万2500トン

最大速度 36ノット

航続距離 18ノットで1万5000海里

乗員 900名

武装 65口径15.5cm3連装主砲5基15門
70口径12.7cm連装高角砲6基12門

61cm4連装魚雷発射管4基

40mm4連装機関砲12基48門

30mm3連装機関砲12基36門

12.7cm36連装噴進砲6基

姉妹艦 一番艦『仁淀』、二番艦『香取』、四番艦『鹿島』、五番
艦『香椎』

説明

旧日本海軍の大淀型軽巡洋艦の名を引き継ぐ新型電子軽巡洋艦であり、名前の通りジャミング発生装置やレーダー攪乱用のチャフやフレアを装備し、艦隊の電子の目として運用される。

ちなみにこれらの艦艇は改装しやすいようにある程度発展性を残している。

作者
「どうだ」

三沢

「高性能ですね」

桜城

「ある意味発展性があるのですか」

作者

「そりや～色々と改装しますからね～次、どつぞ」

突風型駆逐艦

全長 135メートル

全幅 12メートル

基準排水量 2250トン

常備排水量 2860トン

満載排水量 3340トン

最大速度 40ノット

航続距離 18ノットで6000海里

乗員 200名

武装 70口径12・7cm連装高角砲4基8門

61cm5連装魚雷発射管2基（自動装填装置付き）

40mm4連装機関砲8基32門

30mm3連装機関砲6基18門

12・7cm36連装噴進砲4基

爆雷投下軌条2基（爆雷100発）

姉妹艦 一番艦『^{じよ}稜風』、二番艦『^{かん}寒風』、三番艦『^{ねつ}熱風』、四番艦『^{ねつ}熱風』以下多数

説明

旧日本海軍と言つよりはフランス海軍のモガドル型駆逐艦をモーテルに建造した大型駆逐艦で、あまりの大きさから嚮導駆逐艦と呼ばれている。

ちなみにシユミレー・ショーンに置いて突風型一隻とアメリカ海軍のフレッチャー型駆逐艦二隻が戦つたらどうなるかと言うシユミレー・ショーンでは数の劣勢を武器の質で制し、見事に勝利した。

作者
「どうだー！」

三沢
「す、凄いですね…」

桜城
「うんうん。これは凄いよ」

作者
「さて次回は艦艇を紹介します」

三沢・桜城
「次回もよろしくお願いしますー！」

第三話 大淀型電子軽巡洋艦 突風型駆逐艦（後書き）

「意見・感想をよろしくお願ひします。

第四話 長門型戦艦 伊500型潜水艦『晴嵐改』特殊攻撃機

作者

「今日は白石さんと芹沢さんです」

白石

「またの登場ですね」

芹沢

「今回はどう样的な紹介するのですか?」

作者

「これから紹介します」

長門型戦艦

ながと

全長 385メートル

全幅 55メートル

基準排水量 10万5500トン

常備排水量 12万2800トン

満載排水量 16万9200トン

最大速度 33ノット

航続距離 18ノットで2万2000海里

乗員 2500名

武装 50口径56cm3連装主砲5基15門

70口径12.7cm連装両用砲16基32門

40mm4連装機関砲30基120門

30mm3連装機関砲36基108門

12.7cm36連装噴進砲12基

航空機 15機

カタパルト 2基

姉妹艦 一番艦『陸奥』^{むつ}、二番艦『加賀』^{かが}、四番艦『士佐』^{じさ}

説明

かつての八八艦隊の名前を受け継ぐ戦艦であり、主砲配置は加賀型戦艦と同じである。

甲板は対空火器で埋め尽くされ、単純な攻撃力と旗艦設備は磐城型戦艦を超えている。

まさに架空連合艦隊、通称『夢幻艦隊』^{むげんかんたい}の旗艦にふさわしい戦艦である。

芹沢

「架空連合艦隊？」

白石

「夢幻艦隊？」

作者

「そりだ。架空兵器艦艇による艦隊、それが夢幻艦隊だ！」

芹沢

「壮大ですね……」

白石

「うわー、凄過ぎるー！」

作者

「これだけでは無いぞ。次、行くぜ」

伊500型潜水艦

全長	205メートル
全幅	15メートル
水上基準排水量	5500トン
水中基準排水量	6300トン
水上常備排水量	7800トン
水中常備排水量	8600トン
水上満載排水量	1万2400トン
水中満載排水量	1万4900トン
水上最大速度	30ノット
水中最大速度	20ノット
水上航続距離	12ノットで5万4000海里
水中航続距離	10ノットで1200海里
最大潜水深度	400メートル
乗員	500名
武装	61cm魚雷発射管8門 61cm酸素魚雷48本
収納式	12.7cm連装高角砲4基8門
収納式	40mm連装機関砲4基8門
収納式	30mm3連装機関砲6基18門
カタパルト	1基
搭載航空機	特殊攻撃機『晴嵐改』4機
姉妹艦	二番艦『伊501』、三番艦『伊502』、四番艦『伊503』以下多数
説明	旧日本海軍の伊400型潜水艦を発展させた潜水艦であり、潜水空母でもある。
	特徴としては水中抵抗を抑えるために火器は収納式に、速度を上げるためにディーゼル機関を採用、スクリューは4基2軸の5枚ス

クリュー等によつて強力な潜水艦となつた。

唯一の欠点はあまりの搭載量を有するため潜水深度が浅いのが玉に傷。

その対策として防音対策は防振ゴムを宛がう等、徹底している。

作者 「自分で考えたのも何だが恐ろしい性能だな」

白石 「排水量1万トン越えで水中での速度が20ノットはチートですよ

芹沢

「武装も武装で強力ですよ」

作者

「次！三本目行きますよ」

晴嵐改特殊攻撃機

全長 12.5メートル

全幅 12.5メートル（折り畳み時 8.5メートル）

全高 3.4メートル

発動機 液冷式V型16気筒発動機『アツタ五一甲型』

最大速度 580km/h

航続距離 1500km（増槽無し）
3200km（増槽あり）

上昇高度 8000メートル

乗員 3名（操縦員、偵察員、電信員）

武装 機首13.2mm機関銃2門（装填数360發）

翼内25mm機関砲4門（装填数200発）

雷装 850キロ魚雷1本
爆装 850キロ爆弾1発

50キロ爆弾4発（両翼に吊り下げ）

説明

旧日本海軍の晴嵐特殊攻撃機を元に改良を加えた機体で、特徴としては切り離し式のフロートを有しており、フロートを切り離せば時速605km/hとなりパイロットの腕次第ではF6Fと互角に戦える。

ちなみに潜水艦載型と水上艦艇艦載型の二種類が存在している。大きさや性能は一緒。

作者

「これは先程紹介した伊500型潜水艦に配備される艦載機である」

白石

「ある意味、水上機がF6Fと互角に戦えるとは……」

芹沢

「許容範囲内に収まっていますね」

作者

「それはよかつた」

白石

「作者殿。 そろそろ次回予告をお願いします」

作者

「次回は車輌と艦艇を紹介します」

第四話 長門型戦艦 伊500型潜水艦 「晴嵐改」特殊攻撃機（後書き）

「意見・感想をよろしくお願ひします。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1529ba/>

架空兵器特集

2012年1月5日18時52分発行